



小松崎 伸 議員 令和5年度決算状況は



答弁) 持続可能な行政運営ができるかの分岐点

質問 歳入では、地方交付税が全体の構成比でも、10%を超えたが。

答弁 (経営企画部長) 地方交付税に頼ることなく、ふるさと寄附の強化、ネーミングライツの導入など自主財源の確保に取り組んでいく。

質問 歳出では、投資的経費のほとんどである普通建設事業費が27億円減り、物件費などが増えているが。

答弁 ひたち野うしく中学校建設費や清掃工場延命化工事などがあつたことから、その決算額は減少している。

質問 経常収支比率が、令和元年度91.2%であつたが、令和5年度は、93.6%となり、財政構造の硬直化が進んでいるが。

答弁 費用対効果の検証や徹底した無駄の排除に取り組む。

質問 財政健全化判断比率の中で表示された唯一の実質公債費比率が、令和元年度2.4%だったのに対し、令和5年度は、3.0%と上昇しているが。

るが。

答弁 この指標値については、県内でも低い数値(県内第4位)となっており、直ちに警戒する状況ではない。

質問 少子高齢化、社会保障費の増加、税収減少、施設の老朽化など、課題は山積しているが、今後の財政運営、健全化の方針は。

答弁 (市長) 今、まさに持続可能な行政運営ができるかどうかの分岐点に立っている認識である。将来を見据えた財政基盤のもと、各種施策を複合的に強力に推し進めながら「選ばれるまち」として市政運営を進めていく。

質問 持続可能な行政運営ができるかどうかの分岐点に立っている認識である。将来を見据えた財政基盤のもと、各種施策を複合的に強力に推し進めながら「選ばれるまち」として市政運営を進めていく。

答弁 (市長) 今、まさに持続可能な行政運営ができるかどうかの分岐点に立っている認識である。将来を見据えた財政基盤のもと、各種施策を複合的に強力に推し進めながら「選ばれるまち」として市政運営を進めていく。

答弁 (市長) 今、まさに持続可能な行政運営ができるかどうかの分岐点に立っている認識である。将来を見据えた財政基盤のもと、各種施策を複合的に強力に推し進めながら「選ばれるまち」として市政運営を進めていく。



決算特別委員会の様子

東部地域の懸案事項

あるのか、それとも売却等を考えているのか。

質問 かつて号等の公共交通空白地の東部地域では高齢者の通院や買い物等のための移動の足として、かつてのNPO法人サンライズの復活を望む声が多い。故にこれを踏まえ、NPO法人等への移送の委託を検討すべきと考えるがどうか。

答弁 (総務部次長) 売却の方

企業誘致の対象業種

質問 企業誘致の対象は通常は製造業であるが、機械の自動化等が進んでいるので雇用はあまり期待できないと考える。一方、つくば市には国の中央省庁に関連する研究所が林立しているが、これ等の研究所での研究対象は物事のハード面の研究が中心であることから、実社会で通用させるためには民間企業の研究所でのソフト面の研究開発が必要不可欠であり、そこでは当然のことながらマンパワーが求められると判断する。故に今後の企業誘致の対象業種としては民間企業の研究所を選択肢の一つとすべきと考えるがどうか。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

答弁 (経営企画部次長) 今後、自家用自動車旅客運送事業の実証実験を行ない、実験終了後、NPO法人への委託を含めてサービスのある方を検討する。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

質問 閉園となった旧向原保育園については何等かの利活用計画があるのか。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。

質問 閉園となった旧向原保育園については何等かの利活用計画があるのか。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。



令和5年3月31日で閉園となった向原保育園

洪水浸水想定区域への対応策は

柳井 哲也 議員



答弁) 洪水ハザードマップを作り案内周知していく



牛久市防災アプリ

【質問】 対象地区住民に対する広報手段は。

【答弁】 (市長) 防災アプリ「防災うしく」を始めとし、防災

【質問】 対象地区住民に対する広報手段は。

【答弁】 (市長) 防災アプリ「防災うしく」を始めとし、防災

【質問】 対象地区住民に対する広報手段は。

【答弁】 (市長) 防災アプリ「防災うしく」を始めとし、防災

【質問】 対象地区住民に対する広報手段は。

【答弁】 (市長) 防災アプリ「防災うしく」を始めとし、防災

増加する遊休農地対策は

【質問】 実態調査や支援策等はどうかっているのか。

【答弁】 (農業委員会事務局長)

【質問】 実態調査や支援策等はどうかっているのか。

【答弁】 (農業委員会事務局長)

ひとり暮らし高齢者への支援を

鈴木 勝利 議員



答弁) 相談体制の充実に努めていく



簡単な操作で消防本部に通報できる緊急通報装置

【質問】 見守り体制は。

【答弁】 (保健福祉部長) 緊急連絡先やかかりつけ医などを記載した見守り台帳の整備を行い、行政区などと情報共有している。また、銀行や郵便局、新聞販売店、ガス会社などに見守り協定を結び、異変に気がついた時に市へ通報してもらうことになっている。

【質問】 緊急事態に際しての対応は。

【質問】 緊急事態に際しての対応は。

【答弁】 市では緊急通報装置の設置を行い、社会福祉協議会では、自身の医療情報などを記載したシートを入れた救急ボトルの設置を勧めている。

【質問】 緊急事態に際しての対応は。

【答弁】 市では緊急通報装置の設置を行い、社会福祉協議会では、自身の医療情報などを記載したシートを入れた救急ボトルの設置を勧めている。

【質問】 緊急事態に際しての対応は。

【答弁】 市では緊急通報装置の設置を行い、社会福祉協議会では、自身の医療情報などを記載したシートを入れた救急ボトルの設置を勧めている。

【質問】 緊急事態に際しての対応は。

【答弁】 市では緊急通報装置の設置を行い、社会福祉協議会では、自身の医療情報などを記載したシートを入れた救急ボトルの設置を勧めている。

学校における働き方改革の更なる加速化を

【質問】 教師の休憩時間の確保は。

【答弁】 (教育部長) 課題として認識している。好事例を参考に検討していく。

【質問】 校務DXの推進は。

【質問】 校務DXの推進は。

【答弁】 従前のシステムではGIGAスクール時代に適合しなくなり、人材配置やコスト面も十分でないため関係各所と検討していく。

【質問】 市長部局との理解・協力・連携体制は。

【質問】 市長部局との理解・協力・連携体制は。

【答弁】 学校だけでは解決が困難な問題について、連携を図っていく。相談窓口として「かっぱコール」も働き方改革の一助になればと考えている。



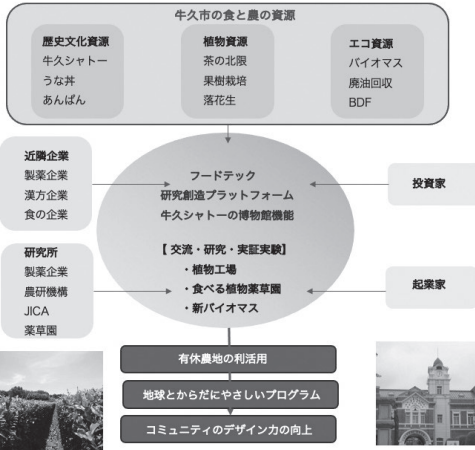
塚原 正彦 議員



フードテックで地球に優しいまちを

答弁) 成長分野として可能な課題解決の調査をすすめる

みる結業金で、る仕組家を集めること展を開すクをロジするプ



牛久フードテックコミュニティ構想
食の地域資源を持つ牛久市が核になり「フードテック」にかかわる研究成果と生活者を結ぶ学びと交流のプログラムを展開することで、若い研究者や起業家が参画する産業創造プログラムが展開します。

質問 世界人口は2050年には95億人に増大し、食料生産力は限界となる。新しい科学と技術を総動員して食と地球環境の課題解決に挑む「フードテック」というビジネステーマが注目されている。

健康食品のうな井と国産ワインが誕生した牛久にはフードテック先進都市の歴史がある。牛久市とその近隣には、農と薬に関連する研究、製造を担う専門機関も集積している。

これらの地域文化資源と牛久の生活者を結びつけ、地域でつくる未来の食文化を提案する。

答弁 (市長) フードテックコミュニティは、経済の分野から社会環境問題まで含むテーマで成長が期待され、政府、企業の関心も高い分野である。食や農、環境、教育、福祉の課題をリンクさせながら課題を解決する視点が求められるため、関係各課と連携しながら調査をすすめていく。



山本 伸子 議員



駅前周辺のさらなる受動喫煙対策を

答弁) 喫煙所の改善策や設置継続の有無も含め検討



広場に隣接した牛久駅東口のパーテーション型喫煙所。これで有効な受動喫煙対策といえるのか？

質問 牛久駅東口やひたち野うしく駅通路2か所の喫煙所はパーテーション型のため、完全な受動喫煙対策とはなっていない。駅前には多くの人が利用する場所であり、特に次世代の子どもたちに受動喫煙を生じさせない対策は。

答弁 (保健福祉部次長) 現状において可能な範囲で受動喫煙に関する注意喚起の表示をし、今後については喫煙所の改善策や設置継続の有無も含め関係機関と協議をしていく。

質問 牛久駅東口駅前広場のにぎわいに民間等の活用を

答弁 (建設部長) 平成28年にリニューアルした駅前広場は、安全で市民が憩い、にぎわいのある場所として整備がされた。しかし現状は市民に広く利用されているとは言えない。広場の管理運営を都市再生法人である牛久都市開発(株)や駅前の活性化を目的とし活動するNPO法人に委託をし、市民協働の駅前広場を提案するが。

答弁 (建設部長) 広場を一体的に整備・管理していく制度など先進事例を研究し、駅前広場の活性化につながるよう検討していく。

質問 公園のなかにはほとんど使われていないと思える公園もある。それでも維持管理に経費はかかる。地域の人の意見をいかし、必要とされる公園の整備が望まれるが。

答弁 (建設部長) 公園は設置から30年以上が経過し、周辺環境も変化してきていると認識している。利用者数や年齢層、利用状況など地域の実情に合わせた公園となるよう努めていく。

高齢者等の足の確保実現に向けて

黒木 のぶ子 議員



答弁) 実証実験は高齢者を含む方々が利用する事業

質問 来年1月実施予定の自治体ライドシェア実証実験は、近隣4市が国の交付金を活用し運転手不足を解消するための事業であり、目的は地域の交通空白地の高齢者を含めた足の確保である。安全安心して乗車するための課題は何か。

答弁 (経営企画部長) 一種免許のドライバーを募集し育成管理を行うドライバーバンクの創設と、課題を協議し整理して安全安心な運行の確保が課題である。

質問 実証実験はつくば市・土浦市・下妻市・牛久市の4市であり、地域性や人口等諸事情が違うが運行契約規則は4市同一なのか。牛久市の独自契約が必要と考えるがどうか。

答弁 4市共同事業なので基本協定を締結し、代表のつくば市が国の交付金申請事務や契約など実施するが、各市の運行形態をとりまとめている。

子どもの多様な体験の支援

質問 幼少期に様々な体験の機会を充実させることで、早期に将来の夢やなりたい職業への明確化が生まれ、興味を持ったことは自信に繋がり努力もする。現在実施しているキャリア教育に探求型を導入することで、普段の学校生活では出会うことのない専門性の高い職業等に触れ体験させることについて伺う。

答弁 (教育委員会次長) 学校の授業外の体験も充実させ、子どもたちの探求心を深め、年齢を超えた交流、ふれあいキャンプ等やキャリア教育の一環では医者や消防士、警察官等を招き職業の内容を学習している。



会計年度任用職員の労働条件改善を

杉森 弘之 議員



答弁) 適正な金額になるよう努める

劣悪な労働条件

質問 牛久市は会計年度任用職員の数が異常に多い。その待遇は劣悪で、特に1日わずか15分短くしてパート扱いで退職金なし、賃金は準拠する給料表が1級及び2級のみで頭打ちになっている職員も多く、常勤職員への道も総務省が紹介する非常勤での勤務経験の配慮を排するなど、早急な改善が必要ではないか。

答弁 (総務部長) 号給の上限に到達している職員の数は22の職種で合計212人になる。3級は係長級であり、上限については、適正な金額となるよう努めたい。勤務経験の配慮はしない。

歩道改修で日立市モデルを

質問 歩道に斜めの箇所が多く、車いす等では歩行困難な歩みにくい歩道の改修・整備はどのような状況か。

答弁 (建設部長) 費用の大

歩道改修計画の策定を検討

質問 歩道改修に向けて牛久市は都市計画でどの様に位置づけているか。

答弁 (市長) 既設の歩道については現時点で整備計画はない。しかしマスタープランにも挙げている通り、誰もが安心して快適に利用できる歩行者空間の整備を実現するためにも、エリアや路線の選定活用できる交付金の模索も含めて、歩道改修計画の策定に向け調査・検討していく。

きさと、歩道改修のみでは国の交付金対象とならないため、歩道改修の工事は進んでいない。他市も同様だが、日立市では、駅周辺のバリアフリー化計画を策定し、交付金の対象として既存歩道の改修を実現したので、参考にしたい。



斜めの部分も多く歩みにくい歩道



高嶋 基樹 議員

現住民への取組みのバランスは？



答弁) 満足度調査の結果等を参考に事業を進行中

質問 人口維持を目標とする本市において「流出抑止」の視点から、流入者への補助に対し、住み続けたい人への施策とバランスはどうか。

答弁 (経営企画部長) 妊娠期から子育て支援まで切れ目のない支援の充実、市民満足度調査で充実を求められていた

防犯強化・公共交通の維持、ハートフルクーポン券利用を市民に限定する等、市民サービス向上に努めている。市民への施策と移住支援の施策は、目的や対象も異なるためバランスの説明は難しいが、双方に対する施策の充実を図っていくことが、より安定した人口確保をするために重要と考える。

質問 市民満足度調査の年代は40代までが36%・それ以上が63%の回答。10年、20年先を見据えたデータとしてはどうであるか。

答弁 本市人口の年齢構成にに応じた回答数であり、高い年齢層が多いため、



市民の意見を反映させる仕組みとしての市民満足度調査



調査項目によっては偏りがでる。統計調査としては中長期的な傾向を把握するため、大きな変更をせず継続することが重要。今後、方法や内容は引き続き検討していく。

今後の展望

質問 今後の流出抑止策や展望は。

答弁 (市長) 東端穴地区では新たな住宅需要に応えるため、区画整理事業を進めており、その強みをアピールする絶好の時期である。いかに社会増を継続していくかが課題と捉え、Uターン・Iターンが促進し、持続的に世代が循環するまちづくりを展開していく。



甲斐 徳之助 議員

人口社会増を目指す財源確保策は



答弁) 県と連携し企業誘致や宅地開発をすすめる

質問 人口減少社会は大きな問題で本市も例外ではない。特に地方都市においては近隣自治体間での競争になる。選ばれ続けるためにも魅力ある政策で人口増加を図るべき。そのためには財源が必要。人口社会増政策は、まず子育て世代支援策はどうか。

答弁 (保健福祉部次長) 小児マル福の高校生までの延長やワクチン助成金など独自の政策も行ってきた。今後も子育て世代の経済的負担軽減に向けて取り組む。

質問 雇用創出のためには企業誘致が有効。本社・スポーツ・イベント団体や学校関係等様々あるが、企業・工場誘致はどうしてきたか。

答弁 (環境経済部長) ※オーダーメイド方式を採用し、空き区画が続くリスクを回避してきた。

質問 オーダーメイド方式は条例か慣例か方針か。

答弁 条例ではなく市の方針で行っている。

質問 スピード感をもってトップセールスを行うべきと考えるが、県との情報共有などはどのようなか。

答弁 (市長) 整備は事前に企業の動向・可能性を把握し整備と並行して進めることが望ましいと助言されている。適地検討を行うため「開発可能性調査」を実施し企業の進出を目指す。

質問 働く環境の近くに定住してもらうためにも宅地開発をすべきだが。

答弁 (建設部次長) 今定例会に新たな宅地開発に向け調査検討業務の補正予算を上程している。

質問 調査の想定地区は。

答弁 ひたち野うしく地区である。

※企業の立地計画に合わせて場所・規模などをアレンジし、用地の交渉・取得から各種許可の取得、造成までを一貫して請け負うこと。

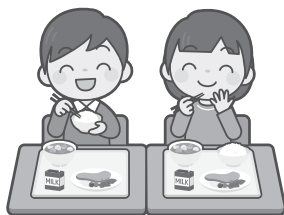


沼田市政の一年間の自己評価は

池辺 己実夫 議員



答弁) でき得る限りの施策に取り組むことができた



質問 この一年の取り組みに対してどのように自己評価しているか。

答弁 (市長) 市長就任以来、『アップデート牛久!! 笑顔あふれる未来へ』をスローガンとして、『子どもの医療費、教育格差、小中学校の給食費、市役所窓口の待ち時間など』『8つのゼロ』に最優先で取り組んできた。

振り返れば、市長就任直後に職員の不祥事の発覚や事務処理のミスなどが続き、その対応に追われ、慌ただしい毎日ではあったが、「でき得る限りの施策に取り組むことができたのではないか」と私自身

としては評価をしている。

引き続き市民の皆様の声やお知恵をお借りし、一つひとつ課題解決にむけてスピード感をもって、着実に取り組んでいく。

新たな道路愛称選定委員会の設置

質問 ひたち野うしく地区の活性化を図る上でも、新たな道路愛称選定委員会を設置し、二所ノ関部屋に関連する道路の愛称についての議論を進めるべきと考えるがどうか。

答弁 (建設部長) 平成23年度の解散後は委員会が設置されていないのが現状である。市としても二所ノ関部屋所属の力士を応援することは当然な流れであるが、現在の地元の盛り上がりや機運の高まりが顕著であると言えるまでには至っていないため、委員会を設置する段階にはないと判断している。今後の更なる機運の高まりを期待したい。

算数セットの備品化については

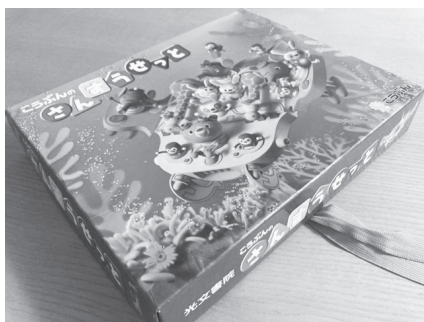
水梨 伸晃 議員



答弁) 長く使えるものは学校での整備も検討

質問 小学校入学にあたり、算数セットを保護者が負担をして購入しているが、学校の備品化とすることにより、保護者の経済的負担と1個1個すべてに名前を書くような負担を軽減することができると考えるが。

答弁 (教育部長) 消耗品については個人での購入、他のプラスチック製品で長く使えるものは学校で整備することも含め、現場の声を参考にしながら検討する。



算数セット

通学路危険箇所のホームページ更新状況は

質問 今年度の危険箇所調査

対応状況を今年度中にホームページで公開してほしいが。

答弁 (教育部長) 今年度の対策状況をホームページで公開することは、できると思う。

児童クラブの昼食に弁当注文の導入を

質問 共働きの世帯が多くなり、朝の多忙な時間の中で保護者にとって弁当の準備は負担が多いと考える。さらにこの暑さの中で弁当は冷蔵庫がない所で保管をしているクラブもある。保護者が弁当宅配業者などへ、注文できるよう取り組むべきと考えるが。

答弁 (教育委員会次長) 公設8か所の児童クラブで公平にサービスが提供できるか確認する必要がある。

質問 条件にあった弁当宅配業者があれば取り組むのか。

答弁 現場の職員が不足している現状なので、負担がかかる作業は避けたい。



加藤 政之 議員

近年のゲリラ豪雨による水害対策は



答弁) 様々な水害対策を行い安全対策に努めている

質問 近年のゲリラ豪雨による、道路の冠水箇所の把握について伺う。

答弁 (建設部長) 過去に発生した冠水箇所の記録などを基に、降雨時の職員による現場巡回や、市民の方の情報提供を基に現地確認を行い、発生箇所の把握に努めている。

質問 想定外の降雨量による被害予測について伺う。

答弁 関東地方で想定される最大降雨量である、1時間当たり153ミリの降雨に対する浸水シミュレーションを実施し、想定外の雨量による危険箇所の被害予測について把握を行っている。

質問 冠水箇所の整備状況と今後の整備計画について伺う。

答弁 (市長) これまで、みどり野、東みどり野、田宮町、神谷、神谷二区、かわはら台上町、下町などにおいて、整備を実施しており、現在は冠

水被害が低減している。

今後の整備計画については、現在、南1丁目地内において実施している雨水管の整備工事を継続し、新たな対策が必要な箇所の抽出に努め迅速に対応していく。

質問 水害ハザードマップの進捗状況について伺う。

答弁 (市民部長) 水害ハザードマップは、総合防災マップとして作成する予定で、配布時期については、年内配布を目指し進めている。



伊藤 裕一 議員

運転診断アプリを導入しては



答弁) 他自治体の動向を注視し調査研究

質問 高齢者の免許返納は外出機会減少により健康悪化につながる恐れもある。運転見極めが肝心であり、運転診断アプリを導入してはどうか。

答弁 (市民部次長) 安全運転意識の向上をはかるうえで有効なツールであるが、個人情報を提供することになるため、導入している他自治体の動向を注視し、調査研究をしていく。

質問 マンション建設に伴い牛久駅西口の時間貸し民間駐車場が閉鎖された。影響の把握状況を伺う。

答弁 (建設部長) 該当場所は100台弱の駐車場であり、影響も考えられるが、意見や問い合わせは極わずか。今回一時貸し駐車場の利用状況調査を実施したが、駐車場の供給に差し迫った状況があるとは判断できかねる。

自治体間交流

質問 市長は7月に台湾の桃園市を訪問したとのことであるが、同市は国際空港が立地する台湾の主要都市である。



台湾桃園国際空港

友好都市締結も視野に関係を深めることはメリットがあると考えているが、今後の展開を伺う。
答弁 (市長) 桃園市役所において、同市の観光関係者を牛久市に招待し、牛久大仏や牛久シャトーなどの観光資源や、物産品について案内することを提案した。将来的には友好都市などの提携を視野に、結びつきを育む。
質問 近年、自治体間交流を経済交流につなげる例もあるが見解を伺う。
答弁 (環境経済部次長) 姉妹都市や甲州市、西尾市と互いの地場産品販売等を行っており、継続して交流を深める。

困難な問題を抱える女性への支援

伊藤 知子 議員



答弁) 相談窓口としては、「フェミニスト相談」が該当

質問 本市の動物愛護協議会設立の状況は。

動物愛護の活動

質問 身近に相談でき、適切な支援につなげる役割である、「女性相談支援員」の配置の考えは。

答弁 関係機関との連絡を密に保ち、つなぐことで、問題が解決するよう支援する。市の女性相談支援員の配置までは考えていない。

質問 身近に相談でき、適切な支援につなげる役割である、「女性相談支援員」の配置の考えは。

答弁 関係機関との連絡を密に保ち、つなぐことで、問題が解決するよう支援する。市の女性相談支援員の配置までは考えていない。



市役所敷地内の木陰で開催された譲渡会 (守谷市)

質問 生活困窮やDV、性暴力被害など、自力では解決できない問題や悩みを抱える女性がいる。こうした女性の相談窓口は。

答弁 (市民部次長) 毎週月曜日の「フェミニスト相談」の他、DVに関しては、市民活動課男女共同参画推進室でも受け付けている。

質問 周知について伺う。

答弁 (環境経済部次長) 市内獣医師会議で、協議会設置の際の参加について大部分の方から、共生協力員会議でもそれぞれ賛同いただき、愛護団体とも連絡を取り合っている。牛久市動物愛護協議会の設立も、なるべく早い時期に実現できるよう取り組む。

質問 市の施設で、保護猫譲渡会を開催できないか。

答弁 猫の保護に関しては、最終的には飼い主を見つけることが必要になる。問題解決のため、譲渡会の開催を支援したいと考える。公共施設での開催については、調整が必要かともあるかと思うが、開催できる方向で支援していきたい。

スクールソーシャルワーカーの現状

藤田 尚美 議員



答弁) 市で1名が対応しており、人材不足である

質問 長期休業中の昼食提供の考えはあるか。取手市は、保護者が注文購入し、弁当業

放課後児童クラブの昼食提供

質問 中学校区ごとに1名のスクールソーシャルワーカーを配置する考えは。

答弁 現状は難しい状況であるが、人材確保や増員は大切であると考える。有資格者の人材不足や財政的な問題等もあるが、今すぐにはいい方向で検討していきたい。

質問 人材確保をし、増員の考えはあるか。

答弁 県の事業を利用した社会福祉士の派遣や、スクールソーシャルワーカーの勤務時間等を増やす方向で調整していく。

質問 スクールソーシャルワーカーの活動内容は。

答弁 (教育長) 家庭訪問や登校支援、福祉的側面の支援を行っている。

質問 (市民部次長) 個別避難計画を作成し、人的サポート体制を築き、音声コードを利用したアプリ等、調査研究に努めていきたい。

質問 ハザードマップに音声コードを付けることへの見解は。

視覚障がい者の情報取得



仕出し弁当 (イメージ)

者が児童クラブまで配達してくれる仕組みである。市としての見解を伺う。

答弁 (教育委員会次長) 対応可能な業者が見つかり、弁当業者と児童クラブの受け入れ体制が整った場合には、期間の短い冬休み、または春休みなどを利用して、試験導入していく。

本市の公営住宅の現状は

出澤 大 議員



答弁) 牛久市は 266 戸の市営住宅を管理している

	県営住宅	市営住宅	合計	人口	一人当たり戸数
1 日立市	2127	3762	5889	169,785	0.0347
2 水戸市	4175	3566	7741	270,010	0.0287
3 高崎市	128	640	768	26,866	0.0286
4 前橋市	394	182	576	26,890	0.0214
5 ひたちなか市	1592	1751	3343	156,435	0.0214
6 大子町	0	329	329	15,444	0.0213
7 北条城市	60	819	879	41,448	0.0212
8 大田町	0	329	329	15,932	0.0207
9 藤岡町	30	346	376	18,379	0.0205
10 常陸大宮市	70	597	667	39,370	0.0169
11 土浦市	1036	1200	2236	141,418	0.0158
12 坂川市	190	360	550	39,041	0.0141
13 常陸太田市	54	539	593	48,222	0.0123
14 茨城町	104	250	354	31,098	0.0114
15 石岡市	144	594	738	71,817	0.0103
16 鉾城市	108	322	430	50,349	0.0085
17 阿見町	102	306	408	49,161	0.0083
18 笠間市	253	351	604	73,787	0.0082
19 龍ヶ崎市	448	158	606	75,813	0.008
20 西海市	184	626	810	101,606	0.008
21 稲敷市	48	214	262	38,377	0.0068
22 境町	0	165	165	24,785	0.0067
23 つくば市	644	829	1469	252,202	0.0058
24 下妻市	72	155	227	42,419	0.0054
25 古河市	396	326	722	140,959	0.0051
26 鹿嶋市	66	270	336	66,274	0.0051
27 那珂市	0	268	268	53,839	0.005
28 常総市	48	253	301	61,652	0.0049
29 小美玉市	0	229	229	49,224	0.0047
30 奥州村	162	0	162	38,424	0.0042
31 勝田町	0	182	182	47,181	0.0039
32 行方市	0	125	125	32,502	0.0038
33 河内町	0	31	31	8,140	0.0038
34 神栖町	210	118	328	94,710	0.0035
35 坂東市	0	178	178	52,639	0.0034
36 守谷市	168	66	234	70,414	0.0033
37 牛久市	0	262	262	84,293	0.0031
38 取手市	0	272	272	106,011	0.0026
39 かすみがうら市	90	0	90	40,628	0.0022
40 つくばみらい市	0	74	74	53,004	0.0014
41 八千代町	0	0	0	21,224	0
42 利根町	0	0	0	15,409	0
43 美浦町	0	0	0	14,605	0
44 五霞町	0	0	0	8,112	0

公営住宅所在市町村別・管理戸数(R4/4/1現在)人口(R5/1/1現在)

※一人当たり戸数・・・県営住宅と市営住宅を合わせた合計数を人口で除した数値

茨城県が出している公営住宅所在市町村別・管理戸数を元に本人が作成

【質問】本市の公営住宅戸数は県内29位、人口で除した一人当たりになると県内37位となる。入居率を伺う。

【答弁】(建設部次長) 入居率は64%であり、年々減少傾向となっている。

【質問】管理戸数が少ない本市の状況においても、低い入居率、応募倍率となっている古い住宅は建て替えやリノベーションが必要だと考えるが、認識を伺う。

【答弁】建物の老朽化が入居意欲の低下の要因の一つである。また、入居時にエアコンや風呂釜、浴槽などを用意しなければならぬ事も要因の一つであるとの認識だ。牛久市市営住宅長寿命化計画に基づき改修していく。その計画も全面改定を行っているので、順次改修をしていく予定だ。

【質問】ハートフルクーポン券事業の目的は

【答弁】(環境経済部次長) 事業実施における基本的なスキームや、詳細の条件等は商工会で決定をしている。商工会への加入者の増加につなげている現状については了承している。今後は他市町村の状況の確認や市内事業者への聞き取りを行い、より良い制度となるよう取り組む。

ハートフルクーポン券事業の目的は

遠藤 憲子 議員

市道22号線に右折レーン設置を



答弁) 完了まで数年を要し設置に向け進めていく

【質問】市ぶどう園踏切(市道22号線)から国道6号の出口「牛久市役所入口」に右折レーンの設置を。

【答弁】(市長) 既に委託契約を交わし測量業務を実施。今年度中に用地境界の確定、地権者に対して用地協力に向けた意向確認を実施していく。用地取得や補償、右折レーン設置工事へと順次進めていく。



右折レーンの設置が待たれる交差点

進めていく。

学校給食の考え

【質問】小学校給食費無償化の考えと試算は。

【答弁】(教育委員会次長) 財政状況を勘案しながら実施時期

や方法など段階的実施を検討している。新たな財政負担は約1億9800万円である。

【質問】学校給食米に有機米導入の検討は。

【答弁】学校給食に牛久産コシヒカリを提供している。市内で有機米栽培の農家はいない。価格が約1.8倍と高く現状では厳しい。

市の住宅政策の現状と今後

【質問】市営住宅の空き家状況、空き室の原因、改修計画は。

【答弁】(建設部次長) 住宅266戸のうち96戸が空き室。空き室の原因は、建物の老朽化と入居時にエアコン、給湯施設等費用負担が要因。木造は空家として順次解体計画。鉄筋コンクリート造は、「長寿命化計画」で耐久性・安全性など必要な改修を実施する。

【質問】猪子住宅の今後は。

【答弁】集約・建替え事業の見直しが必要である。長寿命化計画で検討していく。

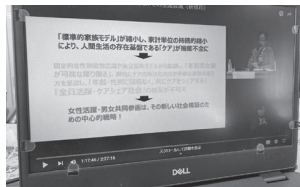
市職員の働き方改革の進め方は？

須藤 京子 議員



答弁) 時間外の縮減を始め働きやすい職場を目指す

質問 子 育てや介 間外を防 ぐための 対策を講 じること として。 **質問** 子 育てや介 間外を防 ぐための 対策を講 じること として。 **質問** 子 育てや介 間外を防 ぐための 対策を講 じること として。



オンラインで実施している 男女共同参画研修

答弁 (総務部長) 職員の時間 外勤務時間の上限は規則で規 定されている。現状は、既定 の月45時間を超える職員がの べ307人、過労死ラインの 80時間超えがのべ46人、 100時間超えはのべ40人に 上り、看過できない状況だっ た。その是正のため、7月か ら組織的に時間外勤務をリア ルタイムで把握し、過度な時 間外を防 ぐための 対策を講 じること として。

質問 2018年の「働き方 改革関連法」の制定により、 多くの企業で働き方改革が進 められている。しかし、その 流れの中で公務員の働き方改 革は進んでいない。市でも時 間外勤務の実態調査が始まっ たが、私のもとにも職員の家 族から、長時間勤務による健 康への影響を心配する声が寄 せられている。特定事業主と しての取り組み状況は。

答弁 市では、既に男性、女 性といった視点ではなく能力 ある職員の登用が一般的であ る。しかし、女性職員の活躍 のため、仕事と家庭の両立が できる環境整備が重要である と認識している。

質問 少子高齢化、生産年齢 人口の減少が進む中、女性の 活躍は重要だ。女性職員の育 成・登用を進め、政策決定・ 意思決定の場への参画拡大を 図るべきだが。

(掲載以外の質問事項)
○令和5年度決算、障害福祉 サービス等報酬改定による 就労系事業所への影響、高 齢障がい者の福祉サービス

市役所職員の現状は

大森 和夫 議員



答弁) 常勤職員定数430人として、35人不足

質問 運転免許証返納対策 運転免許証返納者に対 しては。

答弁 未受診94人に連絡対応。 62名が病院などで受信し連絡 継続している。

質問 現状人員・職種・正規・ 非正規の数は。 **答弁** (総務部長) 8月1日 現在394人。会計年度任用 職員567人。



接触防止策が待たれる通学路 (上池台地区と第八岡見地区)

質問 上池台地区と第八岡見 地区の連絡路の安全対策は。 **答弁** 歩行者の安全対策で通 行帯のカラー化や歩車分離対 策を検討する。

質問 通学路の自動車減速帯 を作る、路面凹凸版、S字道路、 バイロン・ドラム缶の設置は。 **答弁** (建設部長) 安全確保 のため危険個所の抽出と対策 を順次実施する。

災害対策は

する交通支援策については。 **答弁** (市民部長) 支援策の 予定はない。